

グループホームまこと

運営推進会議 議事録

平成 28 年 9 月 21 日 (水)

14 時～15 時

小規模多機能型居宅介護まこと 2 階

司会 西崎・柴田

書記 石井

参加者

- ・ 高橋しのぶ (東部北地域包括センター)
- ・ 木田孝志 (小規模 家族様)
- ・ 住友敏祐 (小規模 家族様)
- ・ 登藤好夫 (GH 家族様)

1 挨拶

2 事業運営報告

- ・ 7 月・8 月のサービス利用状況 (小規模・グループホーム)
- ・ まことでのサービス内容、行事等 (小規模・グループホーム)
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 7 月・8 月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センター様・居宅支援事業所様からの声

3 意見交流

4 その他

- ・ 町内会活動、地域交流への参加について
- ・ ボランティアの受け入れ
- ・ 今後の活動 等

(2) 事業運営報告

■7～8月の介護度別サービス利用状況

(7月31日・8月31日付)

要介護	7月 小規模	8月 小規模	7月 グループホーム	8月 グループホーム
要支援1	2名	2名		
要支援2	0名	0名	0名	0名
要介護1	4名	4名	2名	2名
要介護2	11名	10名	0名	0名
要介護3	4名	5名	6名	4名
要介護4	3名	3名	5名	5名
要介護5	3名	3名	4名	6名
計	27名	27名	17名	18名

西崎：8月は介護度申請により変動があり、要介護2と3で変更がありました但し人数は変わりありません。

柴田：7月は3名の方が入院していました。8月には満床になり、変更申請をかけていた方もいまして平均介護度が3.8に上がっています。

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

- ・7月 5日(火) 工作 七夕飾りを作りました

西崎：17名の方が参加し、笹の飾り作りや短冊に願い事を書き8月まで飾っていました。

- ・7月12日(火) 初夏の鉦路を楽しもう～運動公園散策

- ・7月13日(水) 初夏の鉦路を楽しもう～運動公園散策

西崎：各7～8名の方が参加しています。運動公園を一周歩いたり、ボールを使ったスポーツを楽しんでいました。「リフレッシュ出来た」と喜びの声が上がっていました。

- ・7月27日(水) クルーズ船を見に行きましょう

西崎：MOOにクルーズ船を見に行き、写真を撮ってきました。その際に船から外国人の方が降りて来て鉛筆をもらったと喜んでいました。

- ・8月 6日(土) 第6回 まこと祭り

西崎：事故等もなく無事に終了し、利用者様は喜んでいました。

- ・8月 9日(火) まこと工作～シルバー作品展・作品作り

西崎：この日に限らず日頃から作っていた作品や共同で作った物を作品展に出しています。

- ・8月23日(火) 北海道新聞社の見学に行きましょう

- ・8月24日(木) 北海道新聞社の見学に行きましょう

西崎：シンクルという印刷会社へ、新聞がどう作られているかを見に行っています。予約がいっぱいの中で2カ月前から準備をしていました。最後には記念として写真を新聞にしてもらおう事ができ、皆さん喜んでいました。

・8月29日(月) 防災訓練

西崎：1Fにて行っています。GHまことの防火管理者の結城の指導の元、事前に計画を立てて訓練を実施しています。1・2Fの利用者様も参加し、外には避難しないで玄関先までとしています。その後は消火器訓練に利用者3名参加し、使用の方法を学んでいます。利用者様は使いこなしていて、スタッフが教わっていました。

■グループホームまことでのサービス内容・行事など

- ・7月 2日(土) 誕生会(外食～泉屋)
- ・7月 5日(火) ナルクボランティア
- ・7月 14日(木) 焼肉レクリエーション

柴田：事業所裏の駐車場を使用して、焼肉を行っています。この際は家族様にも参加の呼び掛けをしていましたが、風邪が流行っている時期と重なってしまい当日風邪で不参加になる家族様が多数いました。結果一家庭のみの参加となりましたが、天気にも恵まれ利用者様と屋外での食事を楽しんでいました。

- ・8月 2日(火) ナルクボランティア
- ・8月 6日(土) まこと祭り

柴田：多数の家族様に参加して頂きました。町内会では音などで迷惑をかけたかと思いますが、利用者様と楽しい時間を過ごす事ができ良かったと感じています。

- ・8月 13日(土) 夏花火会

柴田：駐車場で実施しています。例年は危険と予想し手持ち花火を自主的に控えていましたが、今年度は試験的に取り入れてみました。すると見ているだけの花火の時よりも、利用者様の表情が一段と変化していました。来年も併用しながら行っていきたいと考えております。

- ・8月 28日(日) 誕生会(外食～まい鶴)

日常の家事の手伝いやお散歩、作品作りなども随時行っています。

■利用者ご家族からの声

小規模

- * 妻の長期の宿泊の件で、長期で受け入れて頂き有難うございます。職員の方の手厚い介護のおかげで、自宅にいる時よりも落ち着いている様子が伺え安心しております。今後は妻の様子を観させて頂きながら、外出や外泊を試みて行きたいと考えております。

(K.M様 家族より)

西崎：3年前から週2回の通いを利用していました。アルツハイマー型認知症の方で家にいると進行が見られていました。旦那様が自宅経営をしている方でビルに住んでいます。入口が開いていると出て行ってしまい、行方が分からなくなり警察に保護される事があったため、それ以来は施錠をしています。日中は長男様など関わる方が多いですが、夜間になると旦那様と二人きりでした。しかし、旦那様が足を挫いて杖を使用し仕事していた時期があり、本人も夜間せん妄や「ここは私の家ではない」と記憶が結婚する前に戻り「北見に帰る」と夜中まで訴えており、そこから限界を感じていたようです。旦那様と相談し連泊を勧め、GHの空きが出るまでという形で利用開始をしました。夜間は落ち着いていましたが、夕方に不穏が見られた事もありました。しかし、職員が対応しだんだんと落ち着きもみられています。帰宅願望もありますが、職員の声掛けで落ち着いています。先月から週1回自宅に外泊へ行く事を試みており、心配もありましたが旦那様より「家で一緒にいた時よりも落ち着いています。手厚い介護のおかげです」と話しを聞いています。外泊から戻られても不穏が見られることもなく、今後経過観察していく事を家族様とは話をしています。

- * 私も高齢ですが、出来るだけ妻と自宅で暮したいと思います。近くにこのような運動や訓練が出来る施設があって助かっております。今後ともご支援をお願いいたします。

(S.H様 ご家族様より)

西崎：最近リハビリ目的で入院していましたが、改善がみられてきたとの事で通いと泊まりで利用していきたいという希望があり現在に至っております。運動計画は立っていないのですが、なるべく自分の足で歩いてもらおうと歩行器を使用した練習を行っています。

- * 電話にて「私は K.Y の親戚です。何故、本人と話が出来ないのですか？所在や安否確認だけでもしたいのですが・・・」と問い合わせが来られる。(管理者より、遠方の長女様に身元の確認を取らせて頂き、その後本人様にお繋ぎしている)

(K.Y様 ご親戚様より)

西崎：K.Y様は裕福な家庭で知らない親戚の方などが来て何かをしているという疑いがありました。事前に長女様からは話があり、娘様が知らない人には繋げないで下さいと言われていました。この際は「身内なのにどうして許可が必要なんですか」と相手側から言われましたが「契約者様との約束なので」と理解してもらい一旦電話を切り娘様へ連絡を取り、本人に繋いでいます。

グループホーム

- * 昔からあの人(実母)は自分の都合のいいように私(娘)を縛っていた。私は何十年も耐えてきたんだから。歳をとってからもあの人(実母)に振り回されてばかり。もう、いい

加減にして欲しい。これ以上皆さんに迷惑を掛けられないので、しばらく入院させます。

(T様 ご家族様より)

柴田：GHに入居して約1年になる方です。自分の子育てに自信がある方で「私も子育てで大変な思いをしてきたんだから、私にしてくれるのは当たり前でしょ」という価値観を持った方でした。施設生活でしたが「娘に会いたい、孫に会いたい」とほぼ毎日訴えていました。娘様には相談してはいましたが、会いに来られなかったり、会いに来て携帯ゲームをしてお母様と話をしない様子がありました。娘様の前では強い口調で話す事はないですが、帰った後に職員に対して寂しい気持ちから強い口調で話をし「顔を見たい」という訴えに変わっていきました。私たちは1ユニット9名を見ていますが、職員1人を捕まえて話を聞いてもらいたいという方でした。夜中はトイレに起きるとトイレ内で泣き、部屋に戻っても泣き、時には感情的になって職員に当たるなど、この1年過ごしてきました。家族様の面会も少ない中、本人の感情も高まってきて不安定になっていました。鉛筆を持ち出しては自分を刺そうとし、置時計を持っては自分の頭を殴ろうとして「死んでやる」、窓から飛び降りようとしてしまう行動が見られてきました。家族様に相談した際にこのような(上記)返答があり、医療機関に相談し緊急的な入院となり精神科へ入院となっています。現時点では利用解約となり、精神科で入院・治療中です。

- * だいぶ顔色も良くなって笑うようになったね。ご飯も食べれてるようだし、一時はどうなるかと思ったけど、ここに入れて良かったわ。可愛くないけど、頼むね～。

(O様 ご家族様より)

柴田：在宅独居の方で長い間お1人で過ごされてきました。趣味活動もなく1人の時間が長かったせいか、認知機能が低下してしまったと思われます。自分で調理をして食事をする事もなく、1日おきに娘様が自宅に行き、バナナや焼き芋を置いてくると少しずつ食べていました。しかし、食事を提供するとまったく手につけない様子でした。こちらは東部南地域包括より相談を受けたケースです。入居してからも食事を食べてもらえない、水も飲んでもらえない。それに伴い痩せてきて、入れ歯が合わなくなりました。入れ歯がないと食事が摂れないが、入れても喉につかえているような気がするとう堂々巡りが続いていました。認知症だけの問題なのか、他に問題があるのか家族様に協力をお願いし病院にて検査してもらいました。現時点では星が浦の認知症疾患センターの方でフォローしてもらい、食事と水分は摂れる様になっています。今は食事の準備など積極的に行ってくれています。

- * (受診後)病院では入院して様子を見るって言われたけど、断ってきた。ホームで見てやって。ここの方が落ち着いてるから。何かあったらまた直ぐに、受診するからよろしく頼むね。

(H様 ご家族様より)

柴田：この方は重い心不全があり、全身パンパンに浮腫み、脛も腫れ上がって目が開かないほどでした。三慈会病院へ受診してもらいましたが、本人は感情が不安定で病院に行く事を怒り、準備段階では「この服は着ない、どこに行くんだ、何をやるんだ」と言い、病院内でも「どうしてここに連れてきた」と理解が得られず声を荒げていた様子でした。家族様は3年ぶりに外出をし、このような様子になっていると想像をしていなかったようで病状の方は深刻な状態のため病院側は治療の意向でした。しかし、家族様は「内服薬で対応し、生活の基盤はGHまことをお願いします」と断っています。その間三慈会病院の医師と相談しながらGHで生活しています。全身の浮腫については利尿剤等を併用しまして、落ちついてきています。自分で歩けなかったものの、最近では身軽になってきたのか自分で車椅子に乗れるくらいまで改善しています。脈拍は40くらいで医師からは「いつどうなってもおかしくないだろう」と言われています。

西崎：皆様からご意見を聞きたいと思います。まずは登藤様をお願いします。

登藤様：感謝しています。今日も会ってきましたが、来た頃は喜怒哀楽が少なかったですが、表情が良くて「母さん元気だな。調子いいのか」と聞いたら「今は悪いけど、午後から最高だ」と笑うようになっていました。話をする際も口が回るようになってきて感謝しています。ありがとうございます。

西崎・柴田：ありがとうございます。

西崎：続きまして、木田様からお願いします。

木田様：9月の始め頃市立病院へ骨折の診察で行きましたが、急遽血液の状態がおかしいという結果が出ました。市立病院には血液の専門医師が居なく、労災病院を紹介してもらいました。白血球数が低くなっており、感染しやすい状態であるため入院していましたが、今日改善がみられ退院しました。こちらの職員さんに色々対応してもらい感謝しています。これからもよろしくをお願いします。

西崎：こちらこそ、よろしくお願ひ致します。続きまして、住友様をお願いします。

住友様：リハビリをもう少し増やしてもらいたいなと思っています。

西崎：今は歩行器で歩かれています。前は車椅子の話が出ていましたが、現在はまこと内では必要ないと判断して移動時は歩行器で対応しています。

住友様：車椅子は使わない方向でお願いします。

西崎：そうですね、外出時のみと考えています。今後もよろしくお願ひ致します。最後高橋様からお願いします。

高橋様：皆様の話から丁寧な介護をされているんだと感じました。引き続きスタッフの皆様も体に気をつけてほしいなと思います。

西崎・柴田：ありがとうございます。

■7月・8月の事故報告について

	小規模 7月	小規模 8月	G H 7月	G H 8月
アクシデント	1件	0件	0件	0件
インシデント	2件	1件	0件	4件
ヒヤリハット	2件	2件	4件	3件

西崎：アクシデント事故の説明をさせていただきます。7月3日転倒による骨折です。G様95歳の方です。発生場所・時間は午前6時45分、1階の玄関前です。普段は独歩でADLは時々見守りが必要なくらいの自立の方でした。アシストに入居されており6時半くらいに1階に下り、新聞をみて朝食前に2階に戻るとというのが普段の日課でした。スタッフのその時間帯の動きは早番が朝食準備、夜勤者が1階の利用者様、当直が2階の利用者様の起床介助を行っていました。夜勤者が介助を終え、調理補助をしている際に玄関前で物音があり確認するとG様が倒れていました。本人より「スリッパを履いた時に、躓いて転んだ」と話があり、左大腿部に強い痛みを訴えていました。体を動かした際に痛みがあり、管理者へ報告があり「そのまま動かさないで下さい」と指示をし、救急搬送となりました。本人様の意識ははっきりしており「頭は打っていない」と話していました。市立病院へ搬送され、家族様と合流したのち状況説明し引き継いでいます。その後家族様から連絡を頂き「左大腿部骨折にて手術が必要でしばらく入院となりました」と報告を受けました。1ヶ月程入院しており、現在は無事退院し歩行器で歩ける状態まで回復されています。これからアシストへ戻るか、家族様と相談しつつ準備を行っています。事故の原因については職員で集まり話し合っています。問題点としてあがったのが「G様が足元を見ないでスリッパを履いたのではないか」「手すりを使用する様子は見受けられていない」の2つで、「玄関には手すりがついており手すりを使用していれば安定していたのでは」という意見もありました。事故当時の本人の様子は「落ち着かれず、立ったり座ったりを繰り返していた」「普段は独歩だったが、そのような様子から2階へ戻るときに声をかけていれば良かった」と夜勤者からも反省の弁もありました。解決策・改善方法として「2階のアシストの利用者様が1階へ来る際は、足元に気をつけるよう声を掛け注意を促していく」「スリッパを履く際は、必ず手すりを使用してもらえよう声を掛けていく」「G様に対しては経過を観察し、退院日に合わせベッドの手すり・歩行器・車椅子等の福祉用具のレンタルを検討していく」としています。現時点では車椅子を外出用としてレンタルしていますが、歩行器で移動されています。ベッドの手すりも借りてはいません。以上です。

柴田：インシデントには転倒がありました。居室内の転倒で、この方は足の浮腫が強く精神状況の起伏が激しい事で、この事故の3日前から精神科から普段服用している薬の3倍量の薬を服用するように指示があり経過をみている段階でした。日中は寝ている様子は見受けられ、医師に報告し「2倍量まで減薬してもらいたい」と話をしています、現段階は減薬となり経過観察をしています。転倒の仕方としては、ベッドからすり落ちた形だったのでどこかを強く打つような事はなく、身体的には大きな変化はありません。家族様へも相談させて頂きましたが、「GHさんの方で、良いようにして下さい」という返答で上手く相談出来ていない状態です。家族様は面会に来られないため、電話での報告になるので具体的なイメージが出来ていないのではないかと感じておりました。最近面会に来られた際に、具体的に報告した経緯がありました。他には1日1枚貼る薬があり、前日の分を剥さないで当日の分を貼ってしまった件もあげています。

■ 地域包括支援センター様から

高橋様：いつも利用者様の家族様にもお世話になっております。このように地域密着型の小規模さん、GHさんがあるから地域の方と避難訓練や、町内会に入り地域の方と交流があると思います。災害や火災等、夜間何かあった場合職員さんが1人と少ない中でニュースであったように対応をどうするか日頃考えられていると思います。地域の一員として地域の方に認められてこそお互い支えあって助け合えて、家族様もそこが安心して預けられる要因だと思っています。現在は班長さんになられているとの事で、大変だとは思いますが地域との繋がりをぜひ今後も引き続きもって頂きたいと思っています。よろしくお願ひします。

西崎：最近水色の服を着ていればまことの職員だと周知してくれているようです。

高橋様：「どうしたらGHに入れますか?」「小規模に入りたいです」という声も聞こえてきています。

西崎：かれこれ7年目になりますが、やっと周知して頂けるようになったかなと思います。

4 意見交流

非常災害に対する体制・備え

柴田：まこと通信の柴田奮闘記の中でも書かせて頂きましたが、防災対策について改めて報告させて頂きます。災害備蓄品リストがありまして、2011年3月にありました東日本大震災を機にGHまことでも20名×3日分の飲料水・食べ物、ストーブやラジオ等、食器類、紙オムツ・パンツを災害備蓄品として備えております。食品については賞味期限もありますので、定期的に入れ替えている状態です。貝塚地区のGHまこと、小規模まこと内で防火管理者として名をあげているのが「西崎・山田ケミ子・柴田・結城」の4名です。防火管理者というものは火災に関する災害について権限をもち、避難訓練及び災害に関する指示・

誘導を管理する者としてあげられています。その他にも防災管理者として「柴田・結城」2名が名をあげています。防災管理者というものは、防火管理者が火災専門であり防災管理者は火災以外の災害、台風や地震、広くテロ等の行為に関する想定の本制作り、管理・指導していく者です。最近では地震や台風、去年茨城県で起きました鬼怒川の決壊など水害に関するものが増えてきており、火災だけではない災害も想定しなければなりません。ご存知の通り貝塚地区は水脈もあって、川も近いですが傾斜もあり上から下へ水が流れていく形になっています。GHと小規模の避難場所は裏にあります貝塚町内会館が指定されていますが、施設より下がっている位置に会館があります。その理由から万が一何かあった場合には、まずGHから動かない。被災する可能性がある場合は、青陵中学校を第一避難場所と指定しています。青陵中学校が定員だった場合は清明小学校を第二避難場所として法人の中で指定を出しています。万が一災害があり施設にいなかった場合は、電話等の通信系等は使用できないと思われるので青陵中学校・清明小学校を訪ねて頂けたらと思います。その他に年2回の避難訓練を実施しています。消防法の関係で年1回は夜間帯の想定で夜勤者と当直者が全員を避難させる避難誘導訓練を行っています。だいたいの所有時間は10分弱です。日中帯想定の場合は平均時間は3~5分間で全利用者様の避難誘導が完了するようにと目安があり、現段階でGHまこと、小規模まことは平均時間内で避難誘導が可能となっています。屋外の滑り台、今まではGHまことだけにスプリンクラーが設置されていましたが、現在は小規模まこともスプリンクラーが完備されています。去年からは火災になった時に通報ボタンを押さなくても自動的に消防施設へ通報できるシステムを導入しました。屋根の上には太陽光のソーラーパネルをつけております。これは非常用バッテリーの充電用のパネルです。万が一、停電があった場合に非常用のバッテリーが使用できるよう各施設に備わっています。釧路は地震が多い地域になっていますので、防災に関するものは国の補助金を使用してではありますが、積極的に導入していきたいと考えています。

西崎：8月に防火管理者の資格を受託し、訓練では問題なく出来ているが実際に起こったらどうするか等を日頃から考えるようになりました。その中でも1番は地域の皆様への周知とご協力が必要となります。避難訓練の際は参加をして頂けると、実際に災害が起こった際に上手く避難が出来るのではないかと思いますので今後ご協力をお願い致します。

5 その他

- ・ 今後の活動について

(小規模多機能)

9月 6日(火) 焼き芋祭り

9月 15日(木) シルバー作品展を観に行こう

- 9月16日（金）シルバー作品展を観に行こう
- 9月28日（水）秋にちなんだ工作を作ろう
- 10月6日（木）まことクッキング～秋のお菓子を作ろう
- 10月11日（火）、12日（水）お買い物レク～トライアル別保店
- 10月28日（金）まこと工作～ハロウィン飾り作り

（グループホーム）

9月 ・シルバー作品展見学 & 外食

・敬老会 ・誕生会 ・バイキング ・ボランティア等

10月 ・紅葉会 ・焼き芋作り ・誕生会 ・ボランティア×2 等

柴田：シルバー作品展の後には、コープに立ち寄りましてフードコートで食事をし、食品売り場で各自食べたいお菓子を選んでもらい購入して帰ってきました。9月15日には早めの敬老会を実施し、毎年恒例となっておりますが海鮮丸からお寿司の出前をとり紅白饅頭を用意しました。10月には紅葉会を予定しておりますが、GHまことは全員をお連れするために4日間の日程を設けております。その後は焼き芋作りとして、秋を楽しむ行事を盛り込んでいます。ご家族様が行っている三ツ星会というボランティア団体も来られます。10月25日にはGHと小規模合同の避難訓練を予定しています。今回は夜間想定で夜勤者と当直者の合計3名で利用者全員を外に避難する想定で行っていきます。

その他：小規模・グループホーム合同避難訓練～10月25日（火）

次回開催予定日 平成28年11月16日（水）14時 小規模まこと 2階リビングにて開催